

FORZA 駒澤 Vol.11

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
 駒澤大学マスコミ研究所内「駒人スポーツ」サッカー班
 Eメール forzakomazawa@hotmail.com
 TEL・FAX 03(3418)9556 発行人 熊崎雅之

83分、交代出場の金が同点ゴールを挙げガッツポーズ。この金や古川などもっと早めの選手交代も考えられたのでは…



筑波大・石川と競り合う巻。前半はその圧倒的な高さで攻撃の起点となったが、後半は沈黙。やはり2トップが点を決めないとチームは苦しい(岩田陽一撮影)

筑波と死闘の末に惜敗。悲願は悲願のまままで…

JR東日本カップ2001 第75回関東大学サッカーリーグ戦(後期) 1部リーグ第13節

駒澤大学3-4筑波大学



10月21日 14:30 駒沢陸上競技場
駒大 3(2-2)4 筑波大
 勝点18→18 勝点20→23

- 【駒】16分:那須大亮(アシスト=木村誠)
 【駒】27分:増富真也(津村典明)
 【筑】50分:鎌田祥平(鈴木孝明)
 【筑】71分:松原直哉
 【筑】75分:羽生直剛
 【駒】83分:金位漫(古川健介)
 【筑】89分:千代反田充(羽生直剛)

KOMAZAWA	TUKUBA
GK①桜井繁(4)	GK⑩阿部謙作(3)
DF②木村誠(4)	DF④松原直哉(4)
DF③小林久晃(4)	(81分⑦内野弘(4))
(87分⑩鈴木祐輔(11))	DF⑥千代反田充(3)
DF④那須大亮(2)	DF⑥小村宏之(3)
DF⑥三上卓哉(4)	DF⑤石川竜也(4)
MF⑤津村典明(4)	(86分⑩植松弘樹(11))
MF⑥中田洋介(2)	MF⑦高林佑樹(3)
(76分⑩金位漫(4))	MF⑧鎌田祥平(2)
MF⑦増富真也(3)	(66分⑩武田健太郎(2))
(82分⑩古川健介(4))	MF⑧秋田政輝(1)
MF⑧森田真実(4)	MF⑨平川忠亮(4)
FW⑨巻誠一郎(3)	FW⑩羽生直剛(4)
FW⑩深井正樹(3)	FW⑩鈴木孝明(2)
S U B	S U B
GK⑪新沼泉(3)	GK⑪吉岡宏(4)
DF⑪小林亮(1)	MF⑪今泉和己(2)
MF⑪中後雅喜(1)	MF⑪佐野裕也(1)
FW⑪金井一哉(3)	MF⑪鈴木達也(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	山中邦夫

【駒】72分:津村典明(C)
 【筑】22分:高林佑樹(C)、32分:鎌田祥平(C)
 73分:松原直哉(C)、78分:武田健太郎(C)
 <シュート>22:6<枠内シュート>9:6
 <決定機>7:4<GK>4:12<CK>7:5<PK>0:0
 <直接FK>21:16<間接FK>5:3<OS>2:2
 <主審>扇谷健司<観衆>約1200人

※上記データは全て左側の数字が駒澤

CLOSE UP

明暗分けたナンバー「10」

駒澤の深井正樹と筑波の羽生直剛。二人はユニバ代表のチームメイトであり、共に身長は160cm台。自らのチームではエースと呼ばれ背番号10を背負っている。

ブレススタイルこそ違えど、その他の条件ではあまりにも似通ったこの両者の対決は、残念ながら完全に羽生の勝利に終わった。そしてこの事実も筑波をはるかに上回るシュートを打ちながら駒澤が勝てなかった最大の要因ともなった。

深井自身に「エース」の自覚は、ある。だが一昔前の三浦和良やこの日の羽生のように、チームが苦しい時に結果を残せてこそエースと呼べるのではないが。もちろん本人はそんなことは分かっているだろうし、歯がゆいのだとも思う。だが彼は大学の上、つまりプロを見据えてプレーしている選手。だからこそ厳しい言葉を送りたい。結果こそが、全てだと。

筑波のエース羽生の「1アシスト」というこの日の結果を深井はどう受け止めたのか。残り1年の大学生生活で深井がどこまで成長できるか、楽しみである。(龍崎)



悲願達成ならず。一初優勝へ望みをつなぐために、この日の試合ではどうしても勝利が必要であった。しかし前半2点をリードし、筑波大をはるかに上回るシュートを打ちながら逆転負け。2年前に準優勝を果たしたメンバー中心で臨み、前期も期待させる成績で折り返したが後期開幕からの不振がたたき、悲願達成はならなかった。一方の筑波大はこの勝利で3連覇への望みをつなげた。最終節となる次節国士大戦、駒大はインカレ出場権(5位以内)獲得を目指して戦う。

前半2点のリードを奪う 後半4失点で逆転負け

この日、優勝へ望みをつなぐためには筑波も勝たなければならなかったし、駒澤も勝たなければならなかった。そして勝ったのは、前半駒澤に2点のリードを許した筑波だった。

「相手に何もさせなかった(木村)という前半。駒澤は素早いブレスで筑波の自由を奪い、次第に試合のリズムを自分達のものにしていく。先制点が入ったのは16分。木村のクロスを那須が豪快なダイビングヘッドで押し込んだ。27分にも津村のフリーキックに増富がヘッドであわせ2点のリードを奪った。

しかし後半は前半と「別人」に。後半開始早々に鎌田、71分に松原にフリーキックを直接決められると駒澤の運動量は激減。前半に飛ばしすぎたのか、疲れから

☆第13節終了時点順位表☆(残り1試合)

順位	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	国士館大学	8	3	2	22	14	+8	26
2	筑波大学	6	2	5	28	15	+13	23
3	駒澤大学	4	3	6	27	21	+6	18
4	東京学芸大学	5	5	3	13	17	-4	18
5	青山学院大学	6	7	0	14	23	-9	18
6	順天堂大学	4	4	5	20	13	+7	17
7	中央大学	1	5	7	8	14	-6	10
8	慶応義塾大学	2	7	4	6	21	-15	10

そのスペースを筑波に利用され始めた。そして75分に羽生の飛び出しを捕まえきれず、ついに逆転を許した。負ければ優勝の可能性がなくなる駒澤は、古川と攻撃の選手を投入し逆転を狙う。秋田監督から「勝ちに行け」と言葉を受けた二人が見事期待に応え、83分に古川のポストプレーから金が豪快に右足で決め同点に追いついた。しかしその後の決定機をことごとく外し、逆にロスタイムに千代反田のゴールを許し万事休す。駒澤の優勝の可能性は完全に消滅した。

今季の大一番ともいえる試合で駒澤は今季を象徴するような出場を最後まで、優勝を狙う首位国士館と激突する。(内巴)